

令和元年度

運営協議会報告書



鶴岡高専

National Institute of Technology(KOSEN), Tsuruoka College

令和2年3月

独立行政法人国立高等専門学校機構

鶴岡工業高等専門学校



はじめに

高等教育機関が果たすべき役割は教育と研究と社会貢献です。本校ではこれらを有機的に融合させ、地域や企業が抱える課題等の解決を、学生教育、あるいは共同研究等を介して結果を出し、社会のために役立てることが重要と考えております。

本年度は産学連携を一層充実させ、この庄内地域を県内一の工業地帯にしたいものと考えて参りました。その第一歩として、社会に貢献できる人材をいかに多く地域企業に輩出していけるかが大切で、そのためにCO-OP教育の一層の充実を図りました。現在までこのCO-OP教育を経験した学生が4年間（夏と春で年2回）で138名おり、その内11名が地域企業に就職をしておりますが、彼らは入社時から即戦力に近い実力を有しているとの評価をいただいております。本年度からは内容をより充実させ、学生に与える単位数を多くしたところ、参加学生が29名に増加しました。この事業を通じてより多くの学生が地域企業を理解し、そして就職に結びつけてくれればと願っております。

また、「高専を愛する教職員により最良の学生を生み出す鶴岡高専」のスローガンの下、時代を切り拓く技術者で、かつ信頼される社会人を地域に輩出していきます。具体的な事例としては昨年6月にコペンハーゲンで開催されたCDIO会議で「CDIOイニシアチブ」への加盟が認可されました。CDIOは「工学の基礎となるサイエンス」と「テクノロジーの基礎となる実践・スキル」のバランスを重視した質の高い教育を目指すもので、現在39か国、130以上の高等教育機関が加盟しており、工学教育における事実上の世界水準となっています。

国際交流におきましては、在学生の海外留学率は約25%、海外の協定校は20校を数え、これらの数字は県内の高等教育機関では飛び抜けて一位です。

さらに昨年末、株式会社野村総合研究所と人材育成、地域貢献に関する協定を締結致しました。この協定はデジタル時代における新たな地方創生を目指すもので、この鶴岡地域を高い生産性が期待できる「ローカルハブ」に作り上げていくために、同社と連携して多岐にわたる活動を展開して行こうと考えております。

最後に嬉しいニュースで原稿を締めくくらせていただきます。本年度の「廃炉創造ロボコン」において本校のチームが参加18チームの中で唯一課題をクリアして優勝し「文部科学大臣賞」を受賞しました。また、デザインコンテストでも本校のチームが3位に相当する審査員特別賞を受賞しています。

運営協議会におきましては活発で建設的な意見をいただくことが出来、大変嬉しく思っております。また、皆様の期待に応えられるよう毎年新たな企画を行い成長し続けていく所存です。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

令和2年3月

鶴岡工業高等専門学校
校長 高橋 幸司

目次

はじめに

I. 令和元年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会

1. 運営協議会日程	1
2. 鶴岡工業高等専門学校運営協議会委員出席者.....	2
3. 学校関係出席者	3
4. 議事	4
5. 自己点検・評価表.....	55

II. 令和元年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会資料

I. 令和元年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会

1 運営協議会日程

日 時： 令和 2年 1月30日 (木) 13時30分から16時30分まで

場 所： 鶴岡工業高等専門学校 大会議室

次 第：

進 行 順 序	説明事項等	説明者等
開 会		進行：総務課長
校長挨拶		校 長
運営協議会委員紹介		校 長
本校出席者紹介		総務課長
日程及び配付資料の説明		総務課長
委員長（議長）選出		総務課長
委員長挨拶		委 員 長

趣旨説明		総務課長
説 明 ①	学校の概要について	校 長
説 明 ②	教育の内部質保証システム（基準1） 教員組織及び教員・教育支援者等（基準2）	教務主事
	学習環境及び学生支援等（基準3）	学生主事
	【 質疑応答 】	

(休 憩)

説 明 ③	財務基盤及び管理運営（基準4）	事務部長
	準学士課程の教育課程・教育方法（基準5） 準学士課程の学生の受入れ（基準6） 準学士課程の学習・教育の成果（基準7）	教務主事
	専攻科課程の教育活動の状況（基準8）	専攻科長
	研究活動の状況（選択的評価事項A） 地域貢献活動の状況（選択的評価事項B）	地域連携センター長
	【 質疑応答 】	

各委員からの総括		各 委 員
委員長まとめ		委 員 長
校長お礼		校 長
閉会あいさつ		総務課長
事務連絡		総務課長

2 令和元年度運営協議会委員名簿

(敬称省略)

区分	No	職名	ふりがな氏名	備考
1号委員	1	株式会社エル・サン 代表取締役会長	はやさか つよし 早坂 剛	
	2	山形県庄内総合支庁長	ぬまざわ よしのり 沼澤 好徳	
		山形県庄内総合支庁 産業経済部長	すずき ひとし 鈴木 仁	
3	田川地区中学校長会 会長 (鶴岡市立第一中学校長)	すがわら ひろあき 菅原 弘昭		
2号委員	4	長岡技術科学大学長	あずま のぶひこ 東 信彦	
	5	慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長	とみた まさる 富田 勝	欠席
3号委員	6	鶴岡高専技術振興会 会長 (鶴岡市長)	みなかわ おさむ 皆川 治	
		【代理】 鶴岡高専技術振興会 理事 (鶴岡市商工観光部長)	きとう まさつぐ 佐藤 正胤	
7	鶴岡高専峰友会 副会長	さいとう みつる 齋藤 満		

3 本校関係出席者

No	職 名	ふり が 氏 名
1	校 長	たかはし こうじ 高橋 幸司
2	副校長（総務・教務・研究・地域連携担当）／ 教務主事／創造工学科長	かんだ かずや 神田 和也
3	副校長（学生担当）／学生主事	わたなべ せいじ 渡部 誠二
4	副校長（寮務担当）／寮務主事	せがわ とおる 瀬川 透
5	副校長（専攻科担当）／専攻科長	よしき ひろゆき 吉木 宏之
6	基盤教育グループ長	たなべえいちろう 田邊英一郎
7	電気・電子コース長	おおにし ひろまさ 大西 宏昌
8	情報コース長	ししど みちあき 宍戸 道明
9	化学・生物コース長	さとう つかさ 佐藤 司
10	地域連携センター長	かみじょう としお夫 上條 利夫
11	保健センター長	よしずみ けいち 吉住 圭市
12	教育点検委員長	としま しげろう 戸嶋 茂郎
13	教育改善委員長	うえまつ かずひろ 上松 和弘
14	副教務主事	もりなが たかし 森永 隆志
15	事務部長	あがた たけお 縣 猛男
16	総務課長	かたぎり しげのり 片桐 茂則
17	学生課長	さとう としつぐ 佐藤 俊次
18	総務課課長補佐（総務担当）	しょうじ ゆきひこ 庄司由紀彦
19	総務課企画・連携係員	はなおか ゆう 花岡 由